

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、24～28℃台を示し、やや高め～かなり高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の35%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり29トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。
- イカ釣――シケのため出漁がなかった。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、クエが1日1統当たり3kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり459kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり40kgの水揚げで、前週の2.4倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/9～10/14の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、八戸沖で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖、山陰沖、能登沖、佐渡沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、3日延4隻、総計199箱、1航海最高70箱、平均49.8箱。スルメイカ（25～30入）7箱、ケンサキイカ（2～4立）192箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>